

地域おこし協力隊



とうとう、地域おこし協力隊報告会の日時が確定しました。7月10日木曜日の14時から、やまゆりセンター2階ホールで実施します。

皆さんに向けて、直接、活動内容をお伝えするのは初めての試みとなります。この機会が実現でき、本当に嬉しく思います。

隊員達は、道志でどのような未来を築いていこうとしているのか？1年間の実績報告と供にお話しします。ご来場、お待ちしております。

(大野航輔)



11月にまいった麦は成長にバラ

ツキはありますが、実をつけました。私の小さな麦畑が全面黄金色になり収穫の日がくるのが楽しみです。

小麦の収穫、脱穀、加工は昔のやり方でやりたいと思っています。千歯抜き、足踏み脱穀機、麦打ちの棒など、農具をお持ちの方、使える石臼をお持ちの方、麦わらの加工品の作り方を知っている方、その他麦に関しても伝えたいことがある方、ぜひご連絡を頂きたいです。

(千々輪岳史)

道志村地域おこし協力隊とは

2013年度から、5名の隊員が活動しています。3年間、村で地域おこしの活動に携わりながら、任期終了後に向け仕事おこしをしていきます。

田んぼはじめました！



善 之木地区に田んぼを2枚お借りして今年から米づくりをはじめました。植えた米の品種は昨年村内でつくられていた「道志米」。6月上旬になるとか田植えを終えられ、ほっと一段落です。

田んぼにいますと、通りかかるたきさんの方が声をかけてくださいます。ある時は技術指導をいただきたいり、井戸端会議であったり、一服するお茶の時間だったりとそれがとても嬉しいです！

「田んぼをやるからには」ということで朝に弱い私ですが、できる限り早起きして水見に通っています。順調に米が育ってくれば、「道志米」としての販売や米を麴として仕込み、味噌へと加工していく予定です。

素人のおぼつかない米づくりですが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひします！

(中島拓哉)

6月2日に横浜の開港バザーをお手伝いしてきました。



1番の感想は道志村を知っているお客様が多くてとっても驚きました。この横浜での知名度を活かして上手に販路開拓ができないか模索中です。さっそく道志村の新商品であるピクルスを扱ってもらえる販路を横浜で実験的に開拓したいと考えています。畑をやりながらなので時間の使い方が難しい状況ではありますが、商品開発、野菜の栽培、販路開拓と忙しい毎日を送っております。

(井口陽介)

都 留文科大学の学生が授業で道志村に来ています。先日授業で、鹿の皮をなめしたものを一人一人に触ってもらいました。「どのくらい鹿がいるのか？」「バックにしたらいいい」「村内で加工すればいい」など、いろいろな反応が返ってきました。



これから試験的に革の加工方法を検討していきます。革クラフトに詳しいかた、デザインのできるかた、ぜひお知恵をいただきたいです。

(香西恵)